



### ⑥ 真室川町消防団春季消防演習

4月29日(火)、真室川防災センターにて、春季消防演習が行われました。演習では、規律のとれた行列行進、指揮者の号令に合わせた中隊訓練、小隊訓練などが行われ、団員のきびきびとした動作が披露されました。また、休憩時にはたんぼぼこども園園児による元気なダンスが演習に華を添えました。

### 町自主防災組織連絡協議会が設立されました

災害時に地域での防災活動を行う自主防災組織の重要性が認識され、町内のほぼ全域で70組織が結成されたことから4月17日(木)に町自主防災組織連絡協議会が設立されました。今後はそれぞれの防災力を向上させるほか、組織間での情報交換を行いながら大規模災害発生時には連携した活動を実践できるような体制を目指し、今年度は組織ごとに防災マップ作成を行う予定です。



### ⑧ JAバンクより補助教材「農業とわたしたちの暮らし」が贈呈



真室川町農業協同組合 佐藤久義金融課長

### ⑦ 真室川中学校運動会 4月27日(日)



**町長コラム**  
**梅まつり**

真室川町の春の風物詩である秋山公園の梅・桜のライトアップが4月26日から5月6日まで行われた。27日の真室川中学校運動会では、7年ぶりに好天に恵まれ5年ぶりに徒競走が行われた。29日の春季消防演習、3日の観梅会、4日の梅の里マラソン大会も好天に恵まれ盛会裏に開催された。中でも観梅会での梅・桜・桃の開花が素晴らしいと感じたのは、来場した方達も同じであったろう。

昨年のことはまだ脳裏から離れていない。「梅咲かなくて大変だったな」と言われ続け、今年は何とかしなければと考え、秋の剪定も今まで以上にいい、冬場の消毒はもちろん、鷲対策も今まで行っている石灰硫黄合剤に加え、EM液、カラーテープ、磁石を3区間に分散して行った。

秋田大学大学院工学資源学研究所の村上英樹講師からも珪藻土が梅と桜の樹勢回復に効果があるというので、22本の根元に散布してもらった。

これらの成果で素晴らしい観梅会につながる事が出来たと思いい関係各位に感謝します。

真室川町長 井上 薫



### ① 原木なめこ・ひらたけ菌植え体験

4月24日(木)、真室川小学校(斎藤秀二校長)で3年生(37名)の皆さんが、4千個のなめこ、1千個のヒラタケの菌植え体験をしました。県から河川にある柳の木を譲り受けた庄司吉光さん(秋山)達は、原木なめこの有名産地である町を子ども達に知ってもらい、作る喜び食べる喜びを体験してもらいたいとのことから開催したそうです。菌植えに夢中になって取り組んだ児童たちは、来年秋の収穫が待ち遠しいようでした。



### ② 川を大事にする心を(河川愛護モニター)

4月16日(水)、真室川小学校(斎藤秀二校長)で国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所鮭川出張所から河川愛護モニターについてのお話がありました。4・5・6年生の環境委員会の皆さんは、鮭川出張所・井上さんからのお話しに熱心に耳を傾けました。7月には委嘱式が行われ、平成26年7月から平成27年6月までの一年間、河川を観察して感じたことや疑問に思ったことを月に一回報告していきます。



井上徹選手が第10区(本合海～新庄)を力走

### ③ 第59回山形県縦断駅伝競走大会

春の到来を告げる縦断駅伝競走大会が4月27日から29日にかけて開催され、各地区の11チームが28区間・全長298.1kmで健脚を競いました。真室川町からは、新庄・最上チームとして井上徹選手(大池)、横瀬健吾選手(下村)、斎藤勇磨選手(高坂)、佐藤凌選手(大平)の4名が出場。横瀬選手が19区(朝日～白鷹)において区間2位となるなど、昨年を上回る総合第7位の成績に大きく貢献しました。



シーズン中の感謝をこめて

### ④ シーズン中の感謝を込めて

5月3日(土)、町内スポ少、中学校スキー部の選手と保護者が秋山クロスカントリーコース周辺の清掃活動を行いました。スキーシーズン中に使用した施設やコースに感謝の意味も込めて、熱心にコース内のごみ拾いをさせていただきました。



### ⑤ 梅まつりを応援、真高生

5月2日(金)、真室川高校の生徒会の皆さんと有志の皆さんが梅まつりに訪れる皆さんを出迎えるため、チューリップのプランター10個を真室川駅に設置しました。沓澤もも生徒会長は、「多くの方が訪れる駅で、町に明るさと元気を覚えてもらえたらと思っています。」と設置への思いを語ってくれました。